



イコモスが 現地調査

平泉の文化遺産

中尊寺、毛越寺など6資産を視察



毛越寺大泉ヶ池の調査で藤里執事長（左から3人目）らの説明を受けるイコモス調査員のワン・リジュンさん（同6人目）

イコモス（国際記念物遺跡会議）による現地調査が9月8日、9日の2日間行われました。現地調査は、世界遺産登録推薦書の記載内容や資産の保存管理体制などを現地を確認することを目的としています。直接的に世界遺産としての評価を行うものではありませんが、現地で平泉をアピールする唯一の機会でもあります。説明を行う県町の担当者は4月から入念な準備をして調査に臨みました。

調査を行ったのは中国イコモス国内委員会委員の王力軍（ワン・リジュン）氏。9月7日夕方に岩手県入りし翌日から調査を行いました。

初日の冒頭に担当者から映像や資料により「平泉」の概略や世界遺産候補としての価値の説明が行われた後、実際に現地に赴いて調査が行われ、両日とも調査終了後のミーティングにおいて現地での説明に関する補足作業などが行われました。

王氏は確認事項を一つ一つチェックするように質問をし、担当者はそれに対し丹念な説明を繰り返していました。今回の調査結果はイコモスで

※イコモス（国際記念物遺跡会議）とは？

国連教育科学文化機関（ユネスコ）の諮問機関。世界遺産登録推薦物件（文化遺産）の調査・評価を行い答申（勧告）します。イコモスの勧告は、世界遺産登録の可否を決定する世界遺産委員会の審議に大きな影響力を持つています。

たと聞いています。大変良い現地調査ができたのではないかと
思います。

三谷卓也文化庁世界遺産室長
われわれとしては、一定の理解を得られたのではないかと考えており、イコモス本部へ平泉の価値や資産の保全等の取り組みを十分に伝えていただけるのではないかと期待しています。今後引き続き、国、県、関係市町で連携しながら、取り組ん

達増拓也岩手県知事
調査員の王力軍先生は、率直かつ誠実な方で、大変良い人
に現地調査に来ていただいたな
と思いました。

今回の調査に当たり県としては、文化庁、平泉町と関係市町、地元の関係者の皆さんと十分に連携しながら準備を重ねて、可能な限り丁寧な説明を行いました。王先生は推薦書の中身を十分読み込まれており、非常に丁寧で詳細な調査や質疑がなされ

でいきたいと考えています。
この現地調査のために協力いただいた岩手県、平泉町、一関市、奥州市、中尊寺、毛越寺、さらには日ごろより景観整備などのご協力を頂いている地元の皆さまに、厚く御礼申し上げます。

行われている「平泉」の評価作業に反映され、最終的な評価はユネスコに対する「勧告」として平成23年5月ごろに公表される見込みです。

なお「平泉」の登録の可否が決定される第35回世界遺産委員会は平成23年6月19日～29日、中東のバーレーンで開催されます。

◎関係者のコメント

菅原正義平泉町長

前回の反省を踏まえ、十分な説明をしてもらいました。私自身としては感触は良かったと思います。国や県、そして環境整備など日ごろからご協力を頂いている町民の方々に感謝します。

イコモスによる現地調査の日程

◎実施時期…9月8日～9日

◎調査スケジュール

1日目	2日目
▷ミーティング	▷無量光院跡
▷毛越寺	▷柳之御所遺跡
▷観自在王院跡	▷中尊寺
▷金鶏山	▷ミーティング
▷ミーティング	▷記者会見



金色堂ではガラススクリーン内で調査



中尊寺経蔵では防火設備のドレンチャーによる放水を実演

世界遺産登録に向けた今後の予定

平成22年

- 10～11月ごろ イコモス内パネル
▷イコモス内部において「平泉」の審査が行われます。
- 12～1月ごろ 追加情報資料の提出
▷イコモスからの質問に対応します。

平成23年

- 5月 初旬 イコモス、世界遺産センターに対して勧告
▷世界遺産委員会開催の6週間前までに勧告文が提出されます。
▷勧告内容は登録・情報照会・登録延期・不登録の4段階です。
- 6月19～29日 第35回世界遺産委員会において決議
▷会場は中東のバーレーン王国で予定されています。